

さあ！高校生活のスタートです！

新入生のみなさん、城北高校への入学おめでとうございます。待ちに待った高校生活が始まりましたね。「進路だより」には、学習のポイントや大学入試に関する資料など、みなさんが進路実現をするために必要な情報を掲載しています。城北高校のホームページでも公開していますので、保護者の方にも紹介してくださいね。



1 模擬試験の重要性

模擬試験(模試)は全国的に見て自分がどれぐらいのレベルにいるかを知り、目標とする進路先を絞り込む、そして目標までの学力差を測り具体的に学習に向かうためのツールです。城北高校の生徒のほとんどが進学を希望していますが、大学入試には全国各地から受験生が集まってきます。つまり、校内の順位だけでは、自分がどんな大学に進学できるのかをデータとして知ることはできないのです。全国レベルでの自分の学力を知り、試験後に模試を復習することで目標の大学に近づく学力を身に付ける、これが何より大事になってきます。ただ得点のみを見て一喜一憂するのでは意味がありません。模試を有効に活用できるか否かで、学習の成果は大きく変わってきます。今回は模擬試験ではありませんが、新年度4月12日(水)に実施されるスタディーサポートの活用法について説明します。

2 スタディーサポート(スタサポ)とは?

「スタディーサポート」の受験によって全国的な視点における現在の学力や各教科における細かい弱点分析などが分かります。また、リサーチ結果から見た生活面での自分の傾向や今後見直すべきポイントなども知ることができます。これを手がかりにして高校生としての学習習慣を身に付け、今後の高校での学習内容をより理解し深めるために活用してください。また、自分の学力到達度を表すGTZという指標も示されているので、目標大学と自分の学力との指標として活用してください。

〜〜スタディーサポートの流れ〜〜



STEP:1 「スタディーサポート活用 Book」

春休みの課題として配付した「スタディーサポート活用 Book」は英・数・国の問題のほか、受験前から受験後の活用方法が載っています。特にGTZ(学習到達ゾーン)が表すものについて理解しておきましょう。

STEP:2 「スタディーサポート受験」

教科は英・数・国です。解答をもらったその日のうちに答え合わせをして復習しましょう。どんな試験も間違いを直すことが一番大事です！

STEP:3 「個人診断レポート」返却

後日、学力・学習習慣の診断結果と、弱点補強のためのワークとドリルが1冊になって返ってきます。学力の分析結果とアドバイスを読んで、今後どうすればよいかを考えましょう。

< 振り返りのステップ >

1. 個人診断レポートの診断結果を読み、学力のバランス・弱点分野・改善すべき学習習慣を確認する。
2. 個人診断レポートのワークとドリルに取り組み、弱点分野を復習する。
3. 個人診断レポートのアドバイス、「スタディーサポート活用 Book」・「スタディーサポート Planning Book」をもとに、今後の学習の目標を考える。

※今年度の校内一斉テストと模擬試験の予定が裏面にあるので、確認しておきましょう。

さあ！新年度のスタートです！

新2年生のみなさん、春休みをどのように過ごしましたか？計画をきちんと立て、しっかり勉強できていた人が多いと思いますが、生活リズムが崩れ、思うように勉強ができなかった人はいませんか？学年集会や為せ成るセミナーでの話を思い返して、新年度のスタートダッシュにつなげましょう。

4月11日（火）、12日（水）に、今年度最初の一斉テストがあります。一斉テストは定期考査よりも範囲が広いですが、範囲が設定されているということはそれだけ勉強がしやすいということでもあります。定期考査や一斉テストなどの範囲のあるテストにきちんと対応していくことが模試や入試の結果にもつながります。また、一斉テストには模試の類題も出題されますので、3学期に行われた模試の復習も忘れずに！



1 模擬試験の重要性

模擬試験（模試）は全国的に見て自分がどれぐらいのレベルにいるかを知り、目標とする進路先を絞り込む、そして目標までの学力差を測り具体的に学習に向かうためのツールです。城北高校の生徒のほとんどが進学を希望していますが、大学入試には全国各地から受験生が集まってきます。つまり、校内の順位だけでは、自分がどんな大学に進学できるのかをデータとして知ることはできないのです。全国レベルでの自分の学力を知り、試験後に模試を復習することで目標の大学に近づく学力を身に付ける、これが何より大事になってきます。ただ得点のみを見て一喜一憂するのでは意味がありません。模試を有効に活用できるか否かで、学習の成果は大きく変わってきます。今回は模擬試験ではありませんが、昨年度の3月に実施されたスタディーサポートの活用法について説明します。

2 スタディーサポートとは？

「スタディーサポート」の受験によって全国的な視点における現在の学力や各教科における細かい弱点分析などが分かります。また、リサーチ結果から見た生活面での自分の傾向や今後見直すべきポイントなども知ることができます。模試や入試に向けて、学力や学習習慣の振り返りに活用してください。また、自分の学力到達度を表すGTZも示されているので、目標大学と自分の学力との差を知る指標として活用してください。

〜個人診断レポート返却後の流れ〜



「個人診断レポート」返却

後日、学力・学習習慣の診断結果と、弱点補強のためのワークとドリルが1冊になって返ってきます。学力の分析結果とアドバイスを読んで、今後どうすればよいかを考えましょう。

< 振り返りのステップ >

1. 個人診断レポートの診断結果を読み、学力のバランス・弱点分野・改善すべき学習習慣を確認する。
2. 個人診断レポートのワークとドリルに取り組み、弱点分野を復習する。
3. 個人診断レポートのアドバイス、「スタディーサポート活用 Book」・「スタディーサポート Planning Book」をもとに、今後の学習の目標を考える。

※今年度の校内一斉テストと模擬試験の予定が裏面にあるので、確認しておきましょう。

さあ！受験学年のスタートです！

いよいよ最終学年，高校3年生のスタートです。春休み中に「受験生」としての生活・学習スタイルは身についたでしょうか。3年生になってから勉強するのでは遅すぎます。「受験勉強を始めた者から受験生」です。為せ成るセミナーなどでの話を思い出して、「受験生」としての新学年のスタートダッシュにつなげましょう。

4月11日(火)，12日(水)に，一斉テストが実施されます。一斉テストは定期考査よりも範囲が広いですが，範囲が設定されているということはそれだけ勉強がしやすいということでもあります。定期考査や一斉テストなどの範囲のあるテストにきちんと対応していくことが模試や入試の良い結果にもつながります。また，一斉テストには模試の類題も出題されますので，3学期に行われた模試の復習も忘れずに！



1 模擬試験の重要性

模擬試験(模試)は全国的に見て自分がどれぐらいのレベルにいるかを知り，目標とする進路先を絞り込む，そして目標までの学力差を測り具体的に学習に向かうためのツールです。城北高校の生徒のほとんどが進学を希望していますが，大学入試には全国各地から受験生が集まってきます。つまり，校内の順位だけでは，自分がどんな大学に進学できるのかをデータとして知ることはできないのです。全国レベルでの自分の学力を知り，試験後に模試を復習することで目標の大学に近づく学力を身に付ける，これが何より大事になってきます。ただ得点のみを見て一喜一憂するのでは意味がありません。模試を有効に活用できるか否かで，学習の成果は大きく変わってきます。今回は模擬試験ではありませんが，昨年度の3月に実施された学びみらいPASSについて説明します。

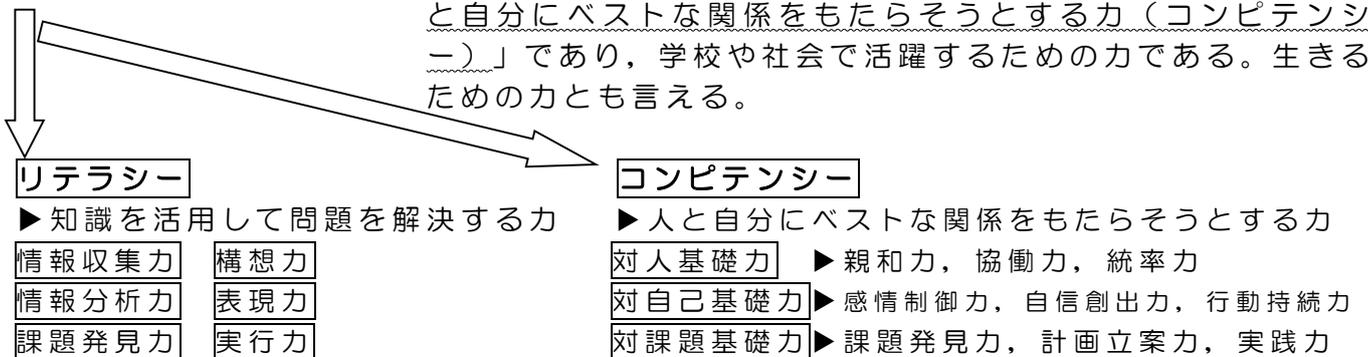


2 学びみらいPASSとは？

○PROG-H……学校や社会で求められる「汎用的な能力(ジェネリックスキル※)」を測定するテスト。現実的な場面を想定して作成されている。

○LEADS……日ごろの学習習慣や生活リズムをセルフチェックできるテスト。また，友人関係や進学・就職意識についても現状把握し，日常生活の見直しやキャリア意識向上につなげることができる。

※**ジェネリックスキル**……「知識を活用して問題を解決する力(リテラシー)」や「人と自分にベストな関係をもたらそうとする力(コンピテンシー)」であり，学校や社会で活躍するための力である。生きるための力とも言える。



☆ジェネリックスキルは，単に机に向かって書物を読めば済むものではなく，「実践」「経験」を通して身につくものである。ジェネリックスキル向上のためには，まず自分の現状(能力)を把握し，その後の過程において「自ら考え行動すること」が必要となる。

※今年度の校内一斉テストと模擬試験の予定が裏面にあるので，確認しておきましょう。